令和８年度　西東京市立学校　学校経営計画

学校名	西東京市立保谷中学校	校長名	市来原　真茂

教育理念及び教育目標

変化と多様性が増す社会の中で、生徒一人一人が夢や希望を持ち、自分の良さを生かして他者と協働し、自分の生き方に誇りと責任を持ちながら、社会の一員として主体的に生きていけるようにする。そのために、生徒が持続可能な共生社会を創り出す担い手として育つよう、「自ら主体的に学ぶ力」「探求心」を高め、他者と協働しながら「自主自立」と「自己決定力」につながる「やり抜く心と体」を培う学校を実現する。

真理を求め、平和で民主的な社会の創り手となる人間の育成

- **○　進んでやりぬく心と体をもつ人となる・・・【豊かな心・実践力】 ・・・・・・ 【心身】**
- **○　自分で正しく判断し行動する人となる・・・【探究力・学びを活かす力】 ・・【知】**
- **○　責任を重んじよく協力する人となる・・・・【よりよい社会を形成する力 ・・【徳】**

学校の特色

1　伝統に培われた「地域からの信頼と母校愛」
2　自主・自立の精神を尊ぶ「伝統的な校風による自治活動の充実」
3　多様性を尊重した「協働的な学習」及び個別の学習支援による個に応じた「個別最適な学習」の推進と充実
4　自主・自立の精神に基づき主体的・意欲的に「生徒が自ら創り上げる学校」
5　充実した人生のための、体力増進、心身の健康など「健康教育の推進」
6　本校区内小学校との連携による「西東京市小中一貫教育の充実」
7　親父の会・チームわかたけ・地域・関係諸機関との「質の高い行動連携」

目指す学校像（学校像、生徒像、教師像）

（1）目指す学校像…「豊かな人権感覚に根差したあたたかな環境と信頼関係に基づき、地域と共に生徒一人一人の可能性を引き出し高め、課題の発見・探求・解決を図ることのできる資質・能力を育成する学校」

①生徒にとって明るく楽しく、将来の「自主自立」に向けて、安心してチャレンジし、自ら課題の探求・解決を図ることのできる生徒を育成する学校
②保護者・地域の方々が、未来を担う子供たちを通わせたいと思う信頼できる学校
③保護者・地域と共に歩み協働する学校

（2）目指す生徒像…「自尊感情とともに多様な他者を尊重、協働し、自ら学び、課題の探求・解決を図ることのできる生徒」

①自らの将来へ向け「夢と希望を持ち、自分のよさを生かして他者と協働する」生徒
②自らを高めるために「正しい判断力と行動力がある」生徒
③他者に対して「豊かな人権意識を持ち、自分の生き方に誇りと責任を持てる」生徒

（3）目指す教師像

「豊かな人権感覚と教師としてのプロ意識のもと、自らのよさ・強みを発揮し、組織的に地域と協働し、生徒主体のよりよい教育活動に向けて精進する教師」

①自己研鑽に努め、法令・服務規律を遵守する。
「生徒・保護者から信頼され、自らを高めながら生徒を成長させる」教師
②教育のプロとしての誇りをもつ
「生徒の意欲を育て成長を促す、よりよい指導方法を常に考え実行する」教師
③組織人としての自覚を持ち、生徒のためによりよい教育環境・学校づくりに邁進する
「組織の一員として協調し、かつ新取の精神をもって創造的な努力を惜しまない」教師

学校経営の目標

1　中期経営目標（中間的課題）
（1）「探究力・学びを生かす力」の育成
（2）「豊かな感性・実践力」の育成
（3）「GIGA スクール構想」の推進
（4）「キャリア形成・夢の実現」の支援
（5）「自主・自立」と「自己決定力」につながる「やり抜く心と体」の育成
（6）「規範意識、及び持続可能な社会の形成を図る力」の育成
（7）「西東京市小中一貫教育」の推進
（8）「インクルーシブ教育」の推進
（9）「特別支援教育」の充実
(10)「西東京あったか先生」の推進
(11)「ライフワーク・バランス」の推進

具体的方策（短期経営目標を達成するための学校の具体的な取組）

（1）「探究力・学びを生かす力」の育成
・生徒が自ら発する「問い」を大切に出発点として「興味・関心」や「自ら学ぶ力」・「探究力」を引き出し、自ら設定した「課題」の解決に向け、対話的に学び、生徒自身が主体的に解決を図る場面を多く取り入れる。
・目標・課題の提示と振り返りを通して、自らの学びを把握し次の学びに生かす力を育む。
・タブレット端末を活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。
（2）「豊かな感性・実践力」の育成
・深い生徒理解を基盤に、自他を尊重し多様性を認め合う人権感覚と実践力を育成する。
・互いの良さを認め、高め合う資質を育むと共に、いじめや差別を許さない程度を育成する。
・道徳の授業を全教員が担当し、専門性を生かし道徳授業を充実させる。
（3）GIGA スクール構想の推進
・ICT やタブレットを活用し、学校と家庭の双方で多様な生徒一人一人に応じた「個別最適な学び」と多様な個性を生かす「協働的な学び」の相乗効果による一体的な充実を図る。
（4）「キャリア形成・自己実現」の支援
・生徒が各教科や学校の学びのよさや価値を見出し自己のキャリア形成に生かせるようにする。
・キャリア・パスポートを活用し、生徒の自己理解の深化と意図的なキャリア形成を促す。
・ハローワークや親父の会など外部人材を活用した職業学習などの体験的な学習を重視する。
（5）「自主・自立」と「自己決定力」につながる「やり抜く心と体」の育成
・　生徒が自ら考え判断して行事を創り上げる中で、達成感と自己有用感を育む。
・　生徒自ら考え創り上げる「保谷ステップ」を継続実施し、体力向上と継続力の育成を図る。
・　学習や生活の目標を自ら定め、選択・判断・振り返りを通して主体的に改善する力を育む。
（6）「規範意識の醸成、及び持続可能な社会の形成を図る力」の育成
・学級活動や委員会等のよりよい集団活動を目指し互いの意見や主張を調整し合い、ルール等をつくり合う経験から規範意識の醸成を図る。
・ESD の視点・能力・態度を踏まえて、課題を見出し、解決に主体的に取り組む力を育成する。
（7）「西東京ふるさと探究学習」の推進
・地域に根差した視点から、国際理解、平和、環境、福祉等の現代的な諸課題や日本の伝統文化理解、自己の将来等、各々生徒の興味関心を生かし「自分ごと」とする探究学習の充実を図る。
（8）「インクルーシブ教育」の推進
・行事や部活動等においてのびる学級と通常学級の連携を図り、生徒の連帯感を深め共生社会に向けて、ともに学び合う意識を育み、組織的にインクルーシブ教育を推進する。
（9）「特別支援教育」の充実
・校内委員会により組織的な情報共有を図り、校内スクールカウンセラー及び外部機関と連携し、不登校生徒の支援及び特別支援教育を充実させる。
(10)「西東京あったか先生」の推進
・担当部教員による服務研修を毎月１回組織的に実施し、当該月に発生しやすい事故防止チェックシートを毎回行い、服務事故をゼロにする。また西東京市子ども条例の周知等を行う。
(11)「ライフワーク・バランス」の推進
・教職員の各自の担当業務の改善の推進し、分掌組織の見える化により、整理・統合化を図る。
・年間の部活動の活動内容の精選、及び活動時間の短縮化を図り、教職員の在校時間を短縮する。